

にのみやまちとしょかん 図書館だより

2007.3.15 発行

(奇数月 15 日発行)

第 26 号



特集

国際的に著名な日本の絵本作家・詩人

4月23日は「子ども読書の日」です。その日から5月12日までの約3週間は「こどもの読書週間」で、子どもの本に関する話題やイベントが一年で最も多い季節となっています。近年では児童書の国際的な賞を日本人が受賞して話題となることもしばしばですが、代表的な賞には以下のようなものがあります。

賞名	創設年	開催国(本部)	概要
国際アンデルセン賞	1953~	スイス	国際児童図書評議会(呼称IBBY)により創設された子どもの本の国際的な賞。「小さいノーベル賞」とも呼ばれる。
ボローニャ国際児童図書展 賞	1964~	イタリア	世界で唯一の子どもの本専門の国際見本市。毎年開催。
ブラティスラヴァ世界絵本原画展(BIB)賞	1967~	スロヴァキア	絵本原画の審査と展示会。隔年開催。

今回の特集では、国際的にも著名な日本人の絵本作家と詩人をご紹介します。ふだん子どもの本を手にとることのない方も、この機会にページをめくってみてはいかがでしょうか。(4月の児童展示テーブルでも、下記の4人の作家の作品を紹介します。お楽しみに!)

あかば すえきち

赤羽末吉(1910~1990) 画家・絵本作家

東京神田生まれ。会社勤務のかたわら日本画を制作していたが、1961年に伝統的な墨絵、大和絵の手法を用いた『かさじぞう』で絵本作家としてデビュー。以後亡くなるまでの30年間で『つるによぼう』『スーホの白い馬』など、80冊を超える数々のすぐれた絵本を発表。鬼の絵本もたくさん描いているため、「鬼の赤羽」との異名も持つ。

画像なし

'80 国際アンデルセン賞画家賞

『春のわかれ』: 今昔物語をもとに再話した悲しくも美しい物語。
『スーホの白い馬』: モンゴルの雄大な大地を舞台にした代表作。
『そら、にげる』: 歌舞伎調の背景の風変わりなナンセンス絵本。
『わらべうた-絵本』: 手まりうたなど30のわらべ歌を収録。
『だいくとおにろく』: 迫力がありどこかユーモラスな鬼が魅力的。

あんの みつまさ

安野光雅(1926~) 画家・絵本作家

鳥根県津和野町生まれ。小学校教諭を経て、画家を志す。パリに遊学中エッシャーの本から影響を受け、1968年に『ふしぎなえ』で絵本作家としてデビュー。淡い色調の水彩画をベースにさまざまな作品を発表。科学・数学・文学などにも造詣が深く、独創性に富んだ作品も数多い。装丁家としても活躍している。

画像なし

'84 国際アンデルセン賞画家賞

『旅の絵本』: 名画や童話の主人公等が絵の中にさり気なく登場。
『ふしぎなえ』: 不可能図形の不思議な世界。初の絵本作品。
『あいうえおの本』: 美しくデザインされた50音絵文字の絵本。
『ABCの本』: 機知とユーモアに富んだ代表作。の姉妹版。
『魔法使いのABC』: 歪んだ絵の真ん中に筒状の鏡を置くと…!

まどみちお(1909~) 詩人

山口県徳山市(現周南市)生まれ。本名石田道雄。1934年、絵本雑誌『コドモノクニ』に投稿し北原白秋に認められ、戦前から童謡詩人として活躍。戦後は雑誌の編集に携わりながら「やぎさんゆうびん」「ぞうさん」など多くの童謡を書き、広く歌われる。ことば遊びやナンセンスな表現が特質で、物や動植物を生き生きと擬人的に描き出している。

画像なし

'94 国際アンデルセン賞作家賞

『まど・みちお全詩集』: 童謡、散文詩など発表順に収録。'92年刊。
『てんぷらぴりぴり』: '68年刊の初の詩集。29編の詩を収録。
『ぞうさん-まどみちお子どもの歌102曲集 改訂』: 楽譜付き。
『まど・みちお詩のえほん』: 「キリンさん」ほか3冊シリーズ。
『そのへんを』: '06発行の久々の新作詩。世界の風景写真と共に。

あらい りょうじ

荒井良二(1956~) 絵本作家・イラストレーター

山形県山形市生まれ。大学卒業後、イラストレーターとして活躍。34歳で自分に一番合う表現スタイルが絵本だということに気づき、絵本作家としてデビュー。明るい色調の感覚的な絵柄と、奇想天外なストーリー展開で多くの大人読者を獲得し、絵本の枠を広げた。絵本のほか、雑誌や広告などでも広く活躍している。

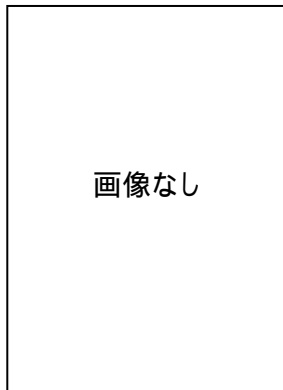
画像なし

'99 ボローニャ国際児童図書展特別賞

『なぞなぞのたび』: 左頁のなぞなぞの答えが右頁の絵の中に。
『森の絵本』: 森の緑色が印象的。「たいせつなものは何ですか?」
『うそつきのつき』: だじゃれを絵で表現したことばあそび絵本。
『そのつもり』: のんびりゆったりした気分になれる優しい絵本。
『はっぴいさん』: 黄色い表紙に鳩が二匹。ぼくらのねがいは…。

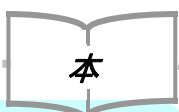
上記に掲載の本は、すべて図書館に所蔵しています。

3月は雛祭、ホワイトデーなど女の子が主役の月！ということで、女性について書かれた本、女性を書いたエッセイなど集めました。『しあわせのねだん』(角田光代著 / 晶文社 / 2005.5 / 914 枳)の目次を見ると、「昼めし 977 円」「クリスマス後物欲 35000 円」など、まるでお品書きのようにいろいろな「ものの値段」が書いてあります。著者は小説家ですが、労働時間を八時から五時までと決めています。理由は「交際をはじめた男性が会

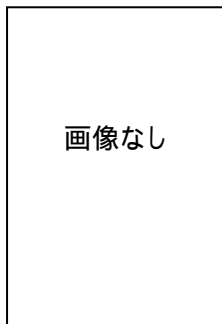


社員だったから」。お昼は、店が混むので少し早めの十一時半から十二時半。そして午前中はランチのことを、午後は夜ご飯のことを、「頭のどこか、小説書きには使っていない部分で」一日中考えている。次は何を食べようかと。「五時五分前には終業だということしか考えていない」という小説家の一日。会社員と同じような、違うような・・・？でも結構女性の頭の中ってこんな感じかも、と気軽に読めるエッセイです。

新しく入った本 CD DVD



『イタリアの横道、見て歩き - イラスト観光案内 - 』
(川村易著 / 小学館 / 2006.10 / 293.7 枳)

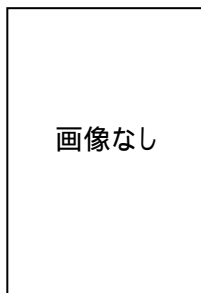


イタリアは古くからの文化の国です。最近ではサッカーやイタリアンレストランで身近な国でもあります。ガイドブックとして便利なものはたくさん出版されていますが、少し変わった観光案内がこの本です。

版画家、彫刻家、イラストレーターと多才な顔を持つ著者が、イ

タリア各地への食材の取材に同行したときに自分が見て歩いた体験を、得意のイラストたっぷりに紹介しています。いろいろな料理や街の市場、芸術など盛りだくさんの内容です。読みやすく分かりやすいので、誰にでも楽しめる一冊です。小さな本ですが、見た目以上に内容は豊富です。

『キャスパー』
(ブラッド・シルバリング監督 クリスティーナ・リッチ
(ほか) 出演 / ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン /
2004 / 778.2 枳)



昔、アメリカのホームアニメとして放送されていたものを、ステイブン・スピルバーグが製作総指揮の下、映画化したSFファンタジーです。

100年以上も古屋敷をさまよう孤独な少年ゴースト、キャスパー。ある心霊学者の父とその娘キャットは、除霊のためにその古屋敷に住むことになりました。キャットと仲良くなったキャスパーは、父親が発明した蘇生機で人間に戻ろうとしますが...。楽しくて、ちょっぴりホロッとする映画です。

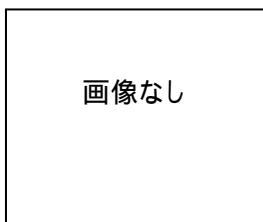
ふう～ん

ランドセルの
はじまり



録音 CD

『ヘフリガー / 日本の歌曲を歌う - ドイツ語訳による - 第1集 赤とんぼ～浜辺の歌』
(エルンスト・ヘフリガー〔テノール〕、イリーナ・ニキーティナ〔ピアノ〕 / ユニバーサルミュージック / 2006.9 / 161 ㄤ 1)



リート(ドイツの芸術歌曲)の第一人者であるテノール歌手、エルンスト・ヘフリガー氏(1919～)、ヘフリガー氏が来日を繰り返すうちに山田耕作の曲に強く惹かれたことが、このCD製作のきっかけになりました。

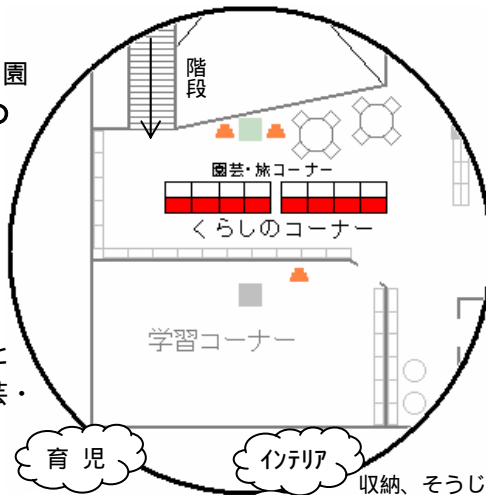
この「第1集」には山田耕作の作品のほか滝廉太郎作曲「花」、中田喜直作曲「雪の降る町を」などを含む26曲の唱歌が収録されています。ドイツ語による語感の違いはありますが、深みある歌声と情感あふれる歌唱はそれぞれの唱歌本来の情緒を損なうことはありません。歌い手の作品に対する愛情が伝わってきます。

江戸時代の終わり、日本に西洋式の軍隊制度が導入されました。その際、背中に背負う布製のかばん「背のう」も輸入され、軍隊で使われました。これがランドセルの元になります。明治18年に学習院は、子どもたちに通学するときにはこの背のうに学用品を入れて通学させることに決めました。明治20年、当時の内閣総理大臣の伊藤博文が大正天皇の学習院入学のお祝いとして特別に作らせ、献上したのが今のような箱型になった始まりといわれています。ちなみに「ランドセル」という呼び方は、オランダ語で背負いかばんを意味する「ランセル」(ransel)が転じてつけられました。

図書館発見 ⇨ ⇨ ⇨ ぐらしのコーナー [2階]

図書館の2階、階段を上った先にある園芸・旅コーナーの裏側にあるのがぐらしのコーナーです。このコーナーには育児、手芸、料理、美容やインテリアといった日常のぐらしに関する本を集めてあります。同じ内容の本は2階のそれぞれの分類の書架にもありますが、このコーナーでは気軽に読めて、毎日の生活にちょっとしたヒントになる本を揃えています。園芸・旅コーナー同様、とても利用の多いコーナーです。

『いちばんわかりやすいソーイングの基礎BOOK』(LB 593.3 ク)や『50円100円おかず応援団1000品便利集』(LB 596 ㄱ)など、女性だけでなく、男性や家事の苦手な方、今春から一人暮らしをはじめの方などにも参考になる本がたくさんあります。



- 育児**
名前の付け方
赤ちゃんの病気
出産体験記 など
- インテリア**
収納、そうじ など
- 美容**
髪型、メイク
ネイル、ダイエット など
- 手芸**
洋裁、編み物、刺繍
パッチワーク
ビーズアクセサリー
ミサンガの作り方 など
- 料理**
和食、洋食、お菓子
お弁当、各国の料理
季節の料理
などのレシピ

ベストオーダー
2007年 1月～2月
この期間に予約が多かった本です

【児童書】

- 第1位 エルDEST - 宿命の赤き翼 - 上・下
- 第2位 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上・下
- 第3位 黄金に輝く月 (妖界ナビ・ルナ 10)
- " エラゴン - 遺志を継ぐ者 -
- " デルトラ・クエスト 2 影の門
- " まじめにふまじめかいけつゾロリ おやしギャグ大百科
- " バムとケロのさむいあさ

【一般書】

- 第1位 国家の品格 / 藤原正彦
- 第2位 最愛 / 真保裕一
- " 赤い指 / 東野圭吾
- 第3位 東京タワー / リリー・フランキー
- 第4位 手紙 / 東野圭吾
- " 華麗なる一族 上・中・下 / 山崎豊子
- 第5位 使命と魂のリミット / 東野圭吾
- " 愛の流刑地 上・下 / 渡辺淳一

二宮ゆかりの人物

まつもと しょうへい
松本 昇平 (『二宮のむかし話』シリーズ著者)

「春は春でもまだ寒い三月のある日、今年尋常科を卒業する小学六年生の教室からオルガンの伴奏に乗って「免状式の歌」が絶え間なく聴こえてきた。いまでいう卒業式のことを二宮町の前の吾妻村では免状式といていたのは大正も前期の時代のことである。」 (『二宮のむかし話 - ふるさとの歌 -』松本昇平著 より)

二宮の歴史を知ることのできるものには、町発行の行政資料がありますが、その他に二宮で生まれ育った方々が歴史を記録、執筆された貴重な資料があります。明治 39 年 (1906) に二宮町山西で生まれた松本昇平氏の『二宮のむかし話』シリーズもその一つです。冒頭の「ふるさとの歌」のほか「吾妻の四季」「子供の四季」など全 12 巻からなり、身近な生活の様子、軽便鉄道、第一次世界大戦余話など祖父母からの話、物語や風俗など多岐にわたりまとめられています。このシリーズは松本氏が 80 歳になって書き始めたもので、これから二宮を背負って立つ若い人へのメッセージと、思い出は歴史の証言となるとの期待が込められています。88 歳になって発行された『二宮の風土記』の中では、大正 12 年の関東大震災の体験などが興味深い筆致で書かれています。また中上川あき子と駆け落ちしたと言われるテノール歌手の藤原義江が二宮の浜で海に向かって歌っていたことや、社会主義運動家の神近市子が笠間医院 (二宮駅南口) の西側に仮寓していたことなどが書かれています。しかし、その記述を裏付ける資料は現在調査中で今のところ見つかっておらず、事実確認はできていません。二宮は「世を忍ぶ話題人にとって格好の隠れ里としての風土性を多分に秘めた適地だったのかもしれない」と松本氏は書いてい

ます。
松本氏は冒頭の免状式を終えると、平塚の書店で見習奉公し、翌年東京堂に入社。大正から戦後までの半世紀にわたり出版業界で活躍されました。退職後も徳間書店・河出書房・弓立社の顧問として後進の指導にあたり、昭和 36 年には、出版文化の進歩発展に寄与することを目的とした野間賞を受賞しています。昭和 56 年 2 月には、大正後期から戦後の新しい販売会社に至るまでの体験とベストセラーの数々を初めてまとめた『業務日誌余白 - わが出版販売の 50 年 -』を出版しました。その中には戦時統制、言論抑圧など出版業界の変遷や、図書館だより 18 号で紹介した筑摩書房の古田晁氏との交流についても書かれています。



『二宮のむかし話 - ふるさとの歌 -』
『二宮の風土記 改訂版』

ふるさと二宮に深い思いを持ち続けた松本氏は、平成 11 年(1999)10 月、93 歳でその生涯を閉じられました。
「二宮の良さは素朴と温暖の一言に尽きる。(中略)
山を背に海に面した自然環境に恵まれた地は狭い日本にも幾多数有るうが、私は二宮を凌ぐところを知らない」
(『二宮の風土記 改訂版』(1) 自然の愛情 より)

参考資料 『二宮の風土記 改訂版』(松本昇平著/伊勢治書店/1994/NY ㄱ) 『二宮のむかし話』シリーズ(松本昇平著/伊勢治書店/NY ㄱ) 『業務日誌余白 - わが出版販売の五十年 -』(松本昇平著/新文化通信社/1981/NY ㄱ)

お知らせ・お願い

4月4日から新しいサービスが始まります

4月4日から、借りている本の延長とメールアドレスの登録が館内の利用者用検索端末とインターネットからできるようになります。メールアドレスを登録するとメールで予約の連絡を受けることができます。
 なお予約の受付については、利用者用検索端末からは7月以降、インターネットからは10月以降に開始する予定です。

サービス	利用者用検索端末	インターネット (パソコン・携帯)
貸出状況確認		
パスワードの変更		
借りている本の延長	4/4～	4/4～ (電話でも可)
メールアドレスの登録 (予約本の連絡)	4/4～	4/4～
予約の受付	2007年7月以降予定	2007年10月以降予定

上記のサービスには、事前に「パスワード」の登録が必要です。詳しくは二宮町図書館のホームページや館内掲示をご覧ください。

住所や氏名、電話番号の変更がありましたら、お知らせください

住所変更の場合は新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をお持ちください。

二宮町図書館リサイクル市が終了しました

2月10、11日の2日間で1364名の来場があり、約3500冊の本等をお持ち帰りいただきました。ご協力ありがとうございました。

行事

くわしくはお問い合わせください。

ちいちゃいおはなし会
 3月 14日(水)
 4月 11日(水)
 5月 16日(水)

おまけのおはなし会
おはなし会とおりがみあそび
 3月 17日(土)
 4月 21日(土)
 5月 19日(土)

わらべうたであそぼう!
 3月 16日(金)
 4月 20日(金)
 5月 18日(金)

雑誌のリサイクルコーナー
 3月 25日(日)
 4月 22日(日)
 5月 27日(日)

展示テーマ

2月 | 一般 / 『人生讀本』
 | 児童 / 『冒険の本』
 | A V / 『日本の女性アーティスト(クラシック編)』

3月 | 一般 / 『お・ん・な』
 | 児童 / 『おにんぎょう』

特設展示

- 1月・・・『第136回 芥川賞・直木賞発表』
- 1月・・・『木暮正夫さんをしのんで』(児童特設)
- 2月・・・『シドニイ・シエルダンさんをしのんで』

地域資料コーナー 展示ケース

- 1～3月・・・『二宮ゆかりの人物 窪田空穂』
- 4～6月・・・『二宮ゆかりの人物 津田 信』

利用者の声 Q&A

Q：予約本の連絡をメールでできるようにしてほしい。また、インターネットから予約ができるようにしてほしいのですが？

A：4月4日から利用者用検索端末およびインターネットから、メールアドレスの登録を開始します。登録すると、予約の連絡をメールで受けられるようになります。

また、インターネットからの予約の申し込みは、2007年10月からの開始を予定しております。今しばらくお待ちください。詳しくは左記をご覧ください。

にんぎょうげき大会

月日 3月2・3日(金)

時間 午前11時～12時

場所 ラヂアンミーティングルーム2

てぶくろ座 「おいしい!」

ぐりぐら座 「ぐりとぐら」

入場無料。事前申し込みは不要です。

直接会場へお越しください。

ひとつだけ ~編集後記にかえて

特集でとりあげたこともあり、ここ数日絵本を目にすることが多かった。じっくりと絵本をながめて、精神的にかなり贅沢な時間を過ごすことができたように思う。ページをめくるとすぐにその世界に入り込める楽しさ。声を出して読むと広がっていく音から感じる気持ち。絵本には、活字を追う喜びとは別の豊かさが溢れていることを改めて感じた。この図書館だよりが、よい絵本と出会うきっかけになるとうれしい。

編集・発行 二宮町図書館
 住所 二宮町二宮1240-10
 ☎ 0463-72-6913
 ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

